

仕事人のアイテム紹介

『アイテム名：你好！学生&地域を繋いで盛り上げます！』 **VOL.018**

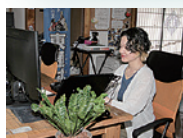


中国(北京)の大学出身、中国語が話せます！
北部海岸で釣りもしま～す！

◆今後の目標◆

地域の困りごとを解決していきたい！

学生と地域の間に入り、双方が「また会いたい」と思えるような環境を作っていきたいです。また、冊子を作ったりして、村の魅力も伝えていきたいです。



撮影協力者：一般社団法人 tsumugu
コーディネーター 奈良 雪月（むつ市出身）

入社のきっかけ「学生の力になれば…、tsumugu の力になれば…」

石持地区に事務所を構える（一社）tsumuguは、地域と若者と企業を繋ぎ、挑戦溢れる地域を創出する事業を行っている企業です。

新入社員の奈良さんは、大学生が東通村やむつ市の企業で、課題解決提案を行うインターンシップの企画、運営をしています。最近、今夏に開催される、インターンシップに向けて、学生への説明会の準備をしています。

アイテム①「手帳」(メーカー:YOSHINA)

☞昨今はデジタル主流でも、メモは“手書き派”
スケジュール管理、打合せに使用しています。
青緑色の革がステキ



アイテム②「一眼レフカメラ」(メーカー:PENTAX)

☞趣味は風景や動物を撮ること。
東通村は、動物が多いところが好き♡
仕事でも、記録用にこのカメラを使用しています。

当コーナーでは、取材協力者を募集しています。

自慢の“アイテム”ご紹介ください♪

今日の『ひがしどおり小話』

No.27 東通村の民俗風習 ～婚礼～

6月はジューン・ブライドの季節ですので、今月は、東通村の民俗風習から「婚礼」についてご紹介します！
現在では、結婚や家族の形は様々ですが、かつての東通村は、親同士が縁談をまとめる集落内婚が主流でした。

そして、結婚の申し出や現在の結婚式にあたる祝言等の婚礼には、様々な民俗風習がありました。

寿

ー 東通村の主な婚礼の習わし（参考：東通村史）ー

嫁もらい 結納 祝言 嫁迎え 入家式

妻に迎えたい女性の生家へ結婚の申し出へ行くことを嫁もらいと呼び、男性側の親族は仲人を立て、物結銭、酒一升と魚を持参し挨拶に行く。申し出に対し、結婚をすぐに快諾することは不吉とされ、男性側は、快諾を得るまで数回にわたり再訪する。再訪した際に女性の親が、男性が持参した酒を口にすることで、結婚の成立となった。またこの酒を酌み交わす風習を決め酒と呼んだ。

結納は、結納金と結納品を持って、嫁の生家へと行き、祝言の日取りを決める。

祝言は、秋の収穫が終わった後から、春の農作業が始まるまでに済ませられた。

祝言当日、婿の家から迎えが来て、花嫁は生家を離れ、嫁ぎ先へ行く。

花嫁の親は娘との別れを惜しみ、時間を稼ぐように迎え役へ酒を進めて飲ませた。

日没前に生家を離れることは忌まれ、日没後に、提灯の灯りとともに、嫁ぎ先へ向かう。嫁ぎ先へ着くと入家式を行う。こうした習わしを経て、婚姻が成立したという。

～皆さんのおじいさんおばあさんが結婚された頃のお話を聴いてみるのもいかがですか～